

戦前期ミシンに関する産業財産権

—その一覧と傾向—

岩本真一†

はじめに—問題の所在と本稿の課題—

不平等条約の改正に向けて、日本帝国は1884年に批准された工業所有権保護同盟条約(通称パリ条約)¹⁾へ1899年に加盟した。加盟に先がけ、日本帝国政府は工業所有権法の整備を急いだ²⁾。加盟後には特許と実用新案をはじめとする産業財産権(工業所有権)³⁾への意識が高まり、出願ブームが生じた。

既に筆者は「ミシン国産化の遅延要因」⁴⁾において、1850年代・60年代に進展した米国・独国に比し、中国・日本での製品化が80年ほど遅れた点に着目し、国産化遅延要因に関する先行諸研究を特許明細書に依拠して検討した。また、申請特許の類型化と分析を行ない、米国シンガー社の特許権が日本のミシン製造会社に対し強い限定を加えたことを立証し、また、波状縫ミシンのように、現在では知られていない発明が存在し、実際に特許が取得されたことも明らかにした。

本稿の課題は、それらミシンの申請特許をはじめとする産業財産権の全体像を示すことにある。さしあたり「特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)」を利用し、そこに収載の

†大阪産業大学 経済学部 非常勤講師

草稿提出日 11月2日

最終原稿提出日 11月2日

- 1) 欧州の経済事情からパリ条約成立を概観し、先進国主導・米国主導の特徴を導出した論考に、板村有美保「特許制度とその国際的展開」(『愛知学院大学論叢 商学研究』第48巻1号, 2007年12月)が挙げられる。
- 2) 1885年4月18日の専売特許条例公布(7月1日施行)をはじめとする一連の整備については、石井正『知的財産権の歴史と現代』(発明協会, 2005年, 157~158頁)を参照のこと。
- 3) 本稿では、industry propertyの訳語について「産業財産権」を用い、名称の固定した法令名や条約名に「工業所有権」の言葉が使われる場合はそれに従う。また、戦前期にミシン関係の意匠の出願は無いので、本稿では断りのない限り、特許・実用新案・商標登録の3項目を産業財産権として論じる。
- 4) 岩本真一「ミシン国産化の遅延要因—特許出願の方向性に関連して—」『大阪経大論集』第67巻2号, 2016年7月。

ない若干の産業財産権は他文献で補足することで、戦前期ミシン関連の産業財産権出願の全容と傾向を把握したい。

I 戦前期ミシン関連産業財産権一覧の作成

1. 戦前期のミシン関連産業財産権情報の取得手順

(1) 戦前期産業財産権の調査法

国立国会図書館ウェブページ内「戦前の日本特許の調べ方」⁵⁾を調査の手掛かりに、そこで案内されている「独立行政法人工業所有権情報・研修館」運営の「特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)」⁶⁾を利用する。ここで特許や実用新案に関する情報を調べることができ、特許発明明細書や登録実用新案明細書等を閲覧することができる⁷⁾。

「戦前の日本特許の調べ方」では、「戦前期については戦前の特許を検索、閲覧することができるのは、「特許・実用新案番号照会」、「特許・実用新案分類検索」の2つのサービス」⁸⁾であると記されているが、この説明には補足が必要である。「特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)」のページ上部にある「特許・実用新案」のプル・ダウン・メニューには13項目の検索法が記されている。これらのうち戦前期の特許・実用新案を検索できるのは、1「特許・実用新案番号照会」と4「特許・実用新案分類検索」である。

(2) 特許情報プラットフォームにおける検索の種類

次いで、検索方法を述べる。特許・実用新案番号が分かっている場合は、1「特許・実用新案番号照会」において「特許発明明細書 (C)」と「新案明細書 (Z)」の別を指定した上で番号を入力し、照会ボタンを押す。手順の難しいのは、特許や実用新案の番号を知らない場合である。この場合、4「特許・実用新案分類検索」を用いて、ミシンに区分される特許番号または実用新案番号を知る必要がある。

5) 国立国会図書館「戦前の日本特許の調べ方」http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/themehonbun-400387.php (2016年8月18日閲覧)。

6) 独立行政法人工業所有権情報・研修館「特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)」<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/web/all/top/BTmTopPage> (2016年8月18日閲覧)。

7) 意匠、商標についても同様の調査が可能であるが、煩雑を避けるために、以下では特許と実用新案のみに限定して説明する。

8) 国立国会図書館「戦前の日本特許の調べ方」http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/themehonbun-400387.php (2016年8月18日閲覧)。

(3) 特許・実用新案分類検索の手順

番号を知るためには、まず、ミシンが所属する区分番号を知る必要がある、すなわち、ミシンに割り振られた番号を4「特許・実用新案分類検索」にある「テーマ」へ記す必要がある。それには「パテントマップガイダンス」⁹⁾を参照し、「IPC 照会」¹⁰⁾からミシンの区分を知ることが必要となる。

とはいえ、「IPC 照会」に付随している「分類」欄に「ミシン」という言葉を入力しても検索できず、「IPC 照会」の横にリンクが設置されている「分類表」¹¹⁾を参照しなければならない。「分類表」には「テーマグループ」と称してテーマごと（2B～5N）にPDFファイルが用意されているので、それを参照する。もし、ミシンがこれらのテーマのいずれに属すかを知らない場合は、「全テーマ分のテーマコード表（エクセル：677KB）」¹²⁾をダウンロードまたは閲覧し、このエクセル表を検索する¹³⁾。すると、ミシンの「テーマコード」には「3B150」が割り当てられており、このコードは1983年から87年にかけて廃止されたテーマコード「4L011」～「4L018」から統合されたものであると分かる。

このような手順と調査を踏んだうえで、先述の4「特許・実用新案分類検索」に戻り、テーマ欄に「3B150」を入力する。次に難しいのは検索式であるが、これには「全テーマ分のテーマコード表（エクセル：677KB）」に記載された「FI カバー範囲」を参照する。ミシンの場合は「D05B1/00-97/12」とあり、検索式に「D05B1/00」を入力する¹⁴⁾。

以上の作業が終われば照会ボタンを押す。そうすることで、テーマコード「3B150」（つまりミシン）に区分されている情報、すなわち、特許と実用新案の明細書番号が表示される。そして、検索ボタンを押すことで、「ヒット件数」が示され、一覧表示ボタンを押すことで検索結果一覧が表示される。表示された一覧には「文献番号」「発行日」¹⁵⁾等が記されている。この内「文献番号」へはリンクが貼られており、クリックをすることで該当の

9) 独立行政法人工業所有権情報・研修館「パテントマップガイダンス」https://www5.j-platpat.inpit.go.jp/pms/tokujitsu/pmgs/PMGS_GM101_Top.action（2016年8月18日閲覧）。

10) IPC とは International Patent Classification の略語で「国際特許分類」と訳される。

11) 特許庁「F タームテーマコード一覧情報（テーマコード表）」<http://www.jpo.go.jp/shiryousonota/themecode.htm>（2016年8月18日閲覧）。

12) 特許庁「全テーマ分のテーマコード表（エクセル：677KB）」<http://www.jpo.go.jp/shiryousonota/xls/themecode/code.xls>（2016年2月2日閲覧）。

13) 検索用語は「ミシン」で十分である。戦前期に使用された「縫衣機」「縫機」「裁縫機」等の言葉は用いられていない。

14) 4「特許・実用新案分類検索」の「種別」には5項目にチェック欄がある。チェックをせずに検索できるが、検索対象となるデータ量が大きくなるため、時間を節約するためには、戦前期のデータを含む「特許発明明細書（C）」と「新案明細書（Z）」の2項目のみにチェックを入れるのが無難である。

15) 公告の発行日。

特許発明明細書または実用新案明細書を表示させることができる。

2. 戦前期ミシン関連産業財産権一覧の作成手順

一覧の作成手順として4点の角度から述べる。まず、「特許・実用新案分類検索」を用い、テーマコードが3B150内、さらに、4L011～4L018内に区分されているデータを整理した。先述した通り、3B150は4L011～4L018を統合したものであるが、必ずしも全てを統合したとは思われない区分漏れがある。

次いで、区分漏れを埋めるために、『実用新案分類総目録』上巻〔1912〕¹⁶⁾、『続特許発明明細分類総目録』〔1914〕¹⁷⁾、『実用新案分類総目録』上巻〔1917〕¹⁸⁾の3点を利用した。これら3点の目録は、恐らく戦前期に刊行された特許・実用新案の特許一覧を示す全ての図書だと思われる。なお、「特許発明明細書(C)」と「新案明細書(Z)」は終戦直後48年までの明細書も一部に含んでおり、本表ではそれを反映させた。これら目録の裁縫関係の区分は「裁縫機並ニ刺繍機」であり、その下位項目は「縫綴機」「裁縫用具」「火熨斗」「型及絲卷」「刺繍機及刺繍」「雑縫綴機」である。このうち本稿の一覧表では「縫綴機」のみ網羅した。

さらに、太平洋戦争勃発後のいわゆる敵産処分で取り消された特許と実用新案の情報は、それらを網羅した『米英其他敵国所有ノ特許権集録』〔1942〕¹⁹⁾を用い、「機械工業の部」の内、第92類に区分される全明細書を対象とした。同書は92類の下位区分を適用していないからである。したがって、戦前期ミシン関連特許一覧にはアイロン(火熨斗)や定規等の関連品の若干を含むことを予めお断りしておく。

最後に、ミシン関連の商標は特許庁編〔1984〕²⁰⁾を参照し、また「特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)」内の「2. 商標出願・登録情報」から「ミシン」「縫機」等の用語を用いて検索した結果を反映させた。特許や実用新案に比べ商標の出願は少ない。

II 産業財産権出願の全体動向

1890年から1948年までの約60年間で、ミシン関係の産業財産権総数は326件であり、その内、出願年・取得年不詳は30件であった。以下では、時系列を無視した動向を述べる際

16) 特許局編『実用新案分類総目録』上巻、帝国発明協会、1912年。

17) 特許局編『続特許発明明細分類総目録』帝国発明協会、1914年。

18) 特許局編『実用新案分類総目録』上巻、特許局、1917年。

19) 発明公報協会編『米英其他敵国所有ノ特許権集録』発明公報協会、1942年。

20) 特許庁編『工業所有権制度百年史』上巻、発明協会、1984年。

に326件を念頭に置く。また、時期的な推移を述べる場合には296件を念頭に置き、取得された産業財産権の出願年を元に分析を行なう。

なお、脚注3で触れたように、戦前期産業財産権の内、ミシン関係の意匠の出願は無く、本稿では実質的に特許・実用新案・商標登録のみを扱う。

1. 産業財産権の種類による比較

産業財産権総数326件の内、特許は225件、実用新案は97件、商標登録は4件である。この内、年不詳の30件（全て特許）と商標登録を除いた特許と実用新案の出願件数（322件）を示したのが図1である。

よくいわれるように、実用新案は特許に比べて手続が簡略で審査期間が短い。そのため、工業化初期段階では特許以上に実用新案が注目されることがある。図1をみると、このような傾向が明確なのは1905年から12年の期間であり、11年を除いて例年、実用新案件数が特許件数よりも多く、次項で述べるように、ほぼ全ての実用新案が内国人のものであった。15年以降はほぼ全てが特許となり、終戦直後の46年～48年まで実用新案件数が特許件数を上回ることが無かった。とはいえ、ミシンに関しては、実用新案の減少と特許への偏向が工業化の進展を直ぐに意味する訳ではなく、次項でみるように15年以降の特許には外国人のものも多い。

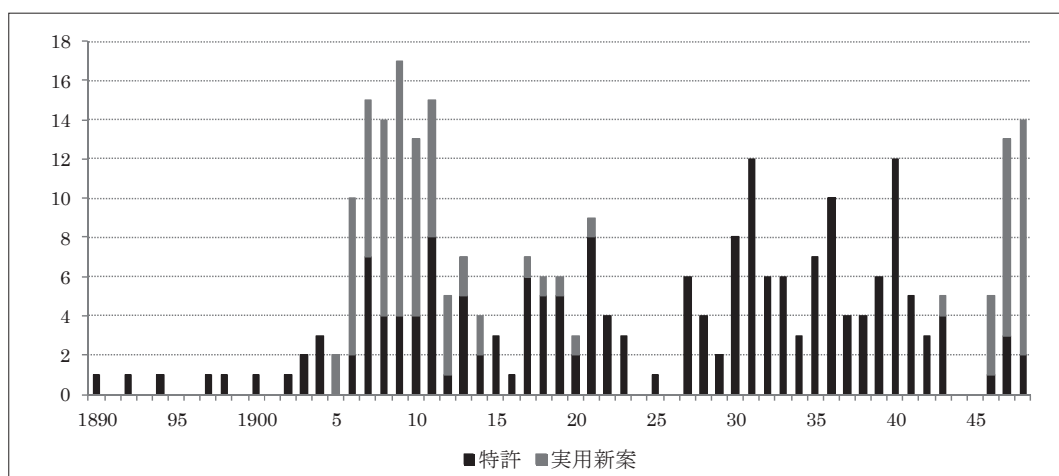


図1 ミシン関係の特許・実用新案出願件数の推移（1890年～1948年）

出典：国立国会図書館ウェブサイト「戦前の日本特許の調べ方」、独立行政法人工業所有権情報・研修館ウェブサイト「特許情報プラットフォーム」、特許庁ウェブサイト「F タームテーマコード一覧情報（テーマコード表）」、特許局編『実用新案分類総目録』（上巻、帝国発明協会、1912年）、特許局編『実用新案分類総目録』（上巻、特許局、1917年）、発明公報協会編『米英其他敵国所有ノ特許権集録』（発明公報協会、1942年）。

注：記載した出願件数は出願年不詳の30件（内訳は全て特許で、内国人が13件、米国人が11件、英国人が4件、独国人・カナダ人がともに1件）を除いた296件（出願総数は326件）。

注2：商標登録出願（4件）は無視した。

2. 内国人・外国人の出願数推移

次いで、内国人と外国人で区別した傾向を探ろう。1890年から1948年までの期間に取得されたミシン関係の産業財産権は、内国人で230件（産業財産権総数326件の70.6%）、外国人で96件（同29.4%）である。この内、一部は前項で触れたが、特許225件の内、内国人は134件、外国人は91件、実用新案97件の内、内国人は96件、外国人は1件、商標登録4件は全て外国人のものである。

これまで確認したように、実用新案はほぼ内国人であり、商標登録は全て外国人（米国人）である。そこで特許に限定し、時系列に内国人と外国人の出願趨勢を概観したのが図2である。件数は特許総数225件から年不詳の30件を差し引いた195件である。

さて、内国人の出願の高まりは1906年から11年までの時期と27年から32年までの時期に分けられる。06年から11年までは毎年2件から7件の特許が取得され、この時期にほぼ重なる05年から14年までの間には2件から13件の実用新案も取得されている。その後、13年からは外国人特許が増加し、従来の英国中心から米国中心へと特許権者の趨勢は変化していく。その象徴的な年が21年であるが、20年代前半は特許自体が少なく、同年代後半からは内国人特許が増加した。米国が大きな比率を占めるのは31年からである。

なお、敵産処分の影響から、1941年から外国人の出願・許可が皆無となる。太平洋戦争期、産業財産権や企業資産等は「工業所有権戦時法」（1917年7月公布・同年9月施行）と「敵

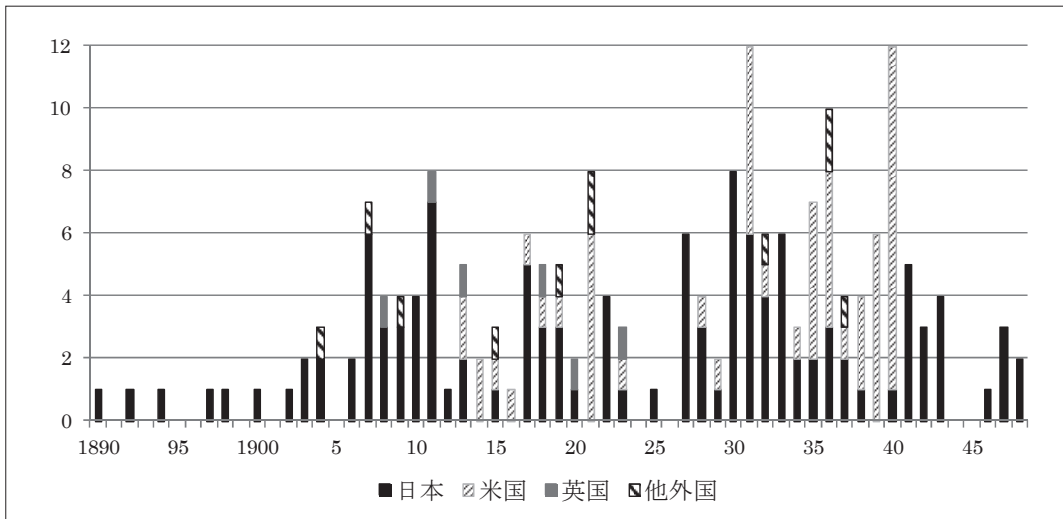


図2 ミシン関係の特許出願件数の内外住所別推移（1890年～1948年）

出典：図1に準ずる。

注：図1に準ずる。

注2：「他外国」は、独国、カナダ（以上2件）、仏国、デンマーク、スイス、朝鮮、スウェーデン、オーストリア、不詳（以上1件）。いずれも年不詳は除く。

産管理法」（41年12月22日公布・施行）によって管理されたが、産業財産権に対しては後者よりも前者が優先された²¹⁾。この工業所有権戦時法を根拠に、特許局は41年12月8日以降、敵国の特許発明や出願中特許（特許出願および実用新案登録出願）に対し、特許取消または専用免許の処分を行なったのである。

3. 外国人の国別動向

発明者、考案者、特許権者、実用新案権者のいずれかの立場で出願者住所が最も多く記されているのは米国で、年不詳込みで68件にのぼり、内国人134件の過半数を占める。この数値は、発明者または考案者の出願者住所よりも、特許権者または実用新案権者のそれを優先した場合であるが、出願者住所が2国にまたがる事例は4件に留まり、いずれもが米国に関係している。たとえば、特許番号118290「〔ミシン〕用敷物製作附属装置」（1935年5月24日出願、翌36年11月18日特許）の場合、発明者「ハインリツヒ、ベルコンス」の住所はラトヴィアで、特許権者「ザ、シンガー、マニユファクチュアリング、コムパニー」の住所が米国である。

特許権を2番目に多く取得したのが10件の英国人である（内、年不詳4件）。以下、独国人は3件（内、年不詳1件）、カナダ人は2件（年不詳無し）と続き、米国の比重が抜き目出て高いことが明らかとなる。

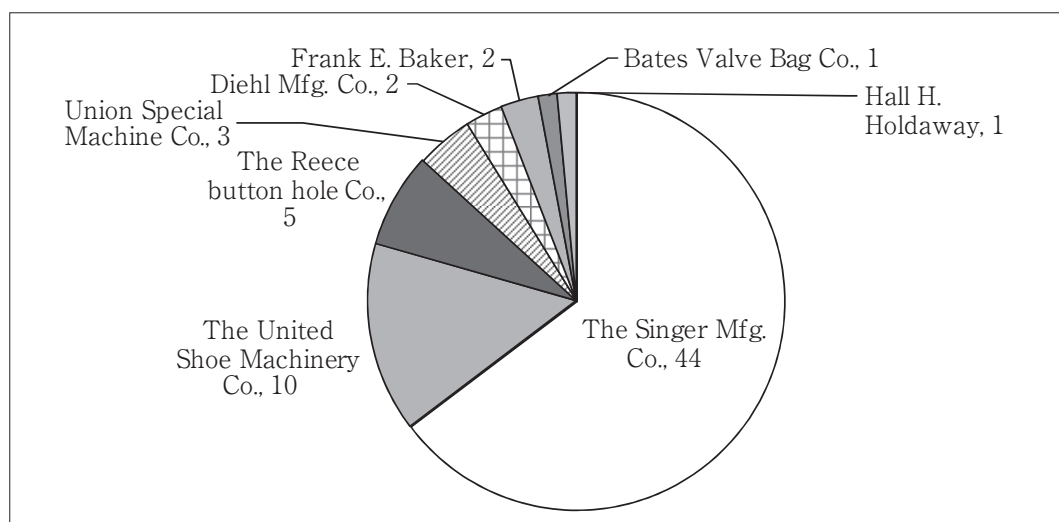


図3 ミシン関係の米国人特許権者と延特許数（1890年～1948年）

出典：図1に準ずる。英語化は「Google Patent Search」<https://www.google.com/patents>。

注：年不詳の特許も含む。

21) 西村成弘「国際特許管理契約と日米開戦—GEの対日事業と敵産処分—」『関西大学商学論集』第54巻6号、2010年2月、49～51頁。

さて、内国人の場合は特許権者に個人名が記されることが多いのに対し、外国人の場合、特に米国人には企業名が記されていることがほとんどで、産業財産権の申請において組織的な制度が整っていることを示唆している。ここで、米国人の取得した特許68件を特許権者別に延特許数で示したのが図3である。The Singer Mfg. Co.（シンガー社）が最も多く44件、次いでThe United Shoe Machinery Co.が10件、The Reece button hole Co.が5件を数える。戦前期の特殊ミシン²²⁾で著名なUnion Special Machine Co.は3件に留まっている。

おわりに

本稿は戦前期ミシンに関する産業財産権の全体像を示した。この結果、判明したことは以下である。1900年代から10年代中期まで、手続が簡略で審査期間が短い実用新案として発明の多くを内国人が申請し、10年代中期からは米国企業をはじめとする外国企業が排他的な特許を取得していった。その後、40年代前半まで、内国人は実用新案から特許へ移行するものの、外国人特許に付随する発明が多く、また企業からの支援がほとんど得られなかった。

また、これらの中には小区分の「縫綴機」「波状縫裁縫機」「雑種裁縫機」等へ分類された特許や実用新案が存在した。「縫綴機」や「雑種裁縫機」が広範囲の特徴を含むのに対し、「波状縫裁縫機」は、別稿²³⁾に示した通り、製品化されなかった発明類・考案類の中で特定の特徴を示していた。

資料 戦前期ミシン関連産業財産権一覧

Iに詳述した手続を経て作成したのが表1「戦前期ミシン関連産業財産権一覧」である。「1-1 特許」、「1-2 実用新案」、「1-3 商標登録」の3項目に分け、それぞれ特許番号、実用新案番号、商標登録番号の昇順に並べた。

22) 本縫ミシンに対し、用途別・品目別に細分化されたミシンをいう。環縫ミシンや刺繍ミシンが代表的である。詳細は岩本真一『ミシンと衣服の経済史—地球規模経済と家内生産—』思文閣出版、2014年、144～147頁を参照のこと。

23) 岩本「ミシン国産化の遅延要因」。

表1 戦前期ミシン関連産業財産権一覧

1-1 特許

番号	品目大分類	品目小分類	名称	出願年	許可年	国	出願主体
1111	28	—	裁縫機	1890	1891	日本	内田嘉一
1907	28	—	裁縫機	1892	1893	日本	鳥谷善兵衛
2507	28	—	裁縫機	1894	1895	日本	梅山清之助
3498	—	—	裁縫機	1897	1899	日本	馬場精三郎
3587	—	—	手巾縁縫機械	1898	1899	日本	工藤阿三郎
4185	—	—	飾縫機	—	—	日本	棚次辰吉
4668	—	—	縫綴機	1900	1901	日本	山崎貞治郎
5774	—	—	軽便縫綴機	1902	1902	日本	棚次辰吉
6788	—	—	縫綴機	1903	1903	日本	山崎貞治郎
7264	—	—	縫綴機	1904	1904	日本	野中喜十郎
7407	—	—	縫綴機械	1904	1904	外国/不詳	ジェフ、シー、モール/クリスト、フアラロ、ロザノ
7663	—	—	日本縫機械	1904	1904	日本	池谷七蔵
9730	28	—	綾飾縫機	1903	1905	日本	吉川眞吉
10625	28	—	綾縫機	1906	1906	日本	吉川眞吉、左右鐵次郎
12499	28	—	縫綴機	1907	1907	日本	石脇桑蔵
12813	28	—	軽便裁縫器	1907	1907	日本	田島勝次郎
12937	28	—	「メス」付縫綴器	1907	1907	日本	木原善三郎
13094	28	—	軽便飾縫機	1906	1907	日本	石脇桑蔵
13119	98	—	装飾「ミシン」	1907	1907	日本	梁瀬角次郎
13124	28	—	装飾「ミシン」	1907	1907	日本	梁瀬角次郎
13131	28	—	軽便飾縫機	1907	1907	日本	棚次辰吉
14294	28	—	廻摺縫機	1908	1908	日本	千代田徳次郎
14336	28	—	裁縫機械	1908	1908	日本	伊藤常蔵
15470	28	—	縫機	1908	1908	英国	フレデリック、ペーカー/レッサー、ジャコブス
15583	28	—	和服専用「ミシン」	1908	1909	日本	岩崎菊三郎
15741	28	1「縫綴機」	箱野式足袋美附機械	—	1909	日本	箱野由五郎、三木善八
16142	28	—	縁縫機ノ送出装置	1909	1909	丁抹	ジュリアス、ラーセン
16155	28	—	伊藤式日本「ミシン」	1909	1909	日本	伊藤常蔵
16160	28	1「縫綴機」	靴縫機	—	1909	米国	ユナイテッド、シュエ、マシナリー、カムパニー
16191	28	—	「ミシン」	1909	1909	日本	梁瀬角次郎
16222	28	1「縫綴機」	「メリヤス」編接機	—	1909	日本	今北米蔵

16358	28	1「縫綴機」	複絡裁縫機針糸抑制装置	—	1909	英国	ペーカー、ソウイング、マシンス、ツラスト、リミテッド
16424	28	—	和服裁縫機	1909	1909	日本	溝田成治郎
16535	28	1「縫綴機」	縫綴機〔足袋用〕	—	1909	日本	中島藤三郎
16797	28	1「縫綴機」	縫綴機	—	1909	英国	ペーカー、ソウイング、マシンス、ツラスト、リミテッド
17400	28	1「縫綴機」	連鎖縫ヲ施行スル改良方法	—	1909	濠太利	シドニー、ウィルモット、ウインスロー
17799	28	1「縫綴機」	縫綴機	—	1910	独国	テークラ、トロッド
17869	28	—	二重環縫「ミシン」機	1910	1910	日本	橋本為吉
17909	28	1「縫綴機」	「ミシン」機械用伏せ縫定規	—	1910	日本	内山清治
17965	28	1「縫綴機」	足袋縫合並ニ裝取機	—	1910	米国	ゼ、シंगाー、マニユアクチュアリング、コムパニー
18074	28	1「縫綴機」	足袋甲馳「ミシン」	—	1910	日本	高木元吉
18075	28	—	押田式廻シ糊ミ「ミシン」	1910	1910	日本	押田勝二
18106	28	1「縫綴機」	「テー、エン、ド、ワイ」莫大小縫綴「ミシン」	—	1910	日本	堀栄吉
18143	28	1「縫綴機」	甲馳縫附用機械	—	1910	日本	成尾信次/岡田金助
18582	28	—	田川式廻シ千鳥掛機械	1910	1910	日本	田川富吉 藤井カパー合資会社
18909	28	1「縫綴機」	複絡裁縫機	—	1910	英国	フレデリック、ジョン、ターナー、ベル/ハーデー、セシル、ベル
18947	28	1「縫綴機」	靴縫機	—	1910	米国	ユナイテッド、シュ、マシナリー、カムパニー
19112	28	1「縫綴機」	縫綴機	—	1911	日本	遠里権次郎
20134	28	1「縫綴機」	裁縫機用足袋コハセ縫合機	—	1911	米国	ゼ、シंगाー、マニユアクチュアリング、コムパニー
20305	28	—	山下式裁縫「ミシン」	1911	1911	日本	山下正三郎
20375	28	1「縫綴機」	縫綴機	—	1911	日本	野田光次
20475	28	—	自縫機	1910	1911	日本	小宮彦太郎
20565	28	1「縫綴機」	縫綴機	—	1911	米国	ユナイテッド、シュ、マシナリー、カムパニー
20566	28	1「縫綴機」	靴縫機	—	1911	米国	ユナイテッド、シュ、マシナリー、カムパニー
20849	28	1「縫綴機」	裁縫機械	—	1911	米国	ゼ、シंगाー、マニユアクチュアリング、コムパニー
20928	28	—	押田式廻シ糊ミ「ミシン」	1911	1911	日本	押田勝二
20982	28	—	小出式裁縫「ミシン」	1911	1911	日本	小出新次郎
21168	28	1「縫綴機」	貴志式刺縫機	—	1911	日本	貴志松次郎/木村春東
21275	28	1「縫綴機」	縫靴機	—	1911	米国	ユナイテッド、シュ、マシナリー、カムパニー
21393	28	—	軽便縫綴機	1911	1912	日本	石脇榮藏
21394	28	—	軽便二重環縫綴機	1911	1912	日本	石脇榮藏
21536	28	1「縫綴機」	複絡裁縫機ノ改良	—	1912	英国	フレデリック、ジョン、ターナー、ベル/ハーデー、セシル、ベル/ジョン、ブランドワード
21960	28	—	裁縫機ノ爪挿ミノ制御装置	1907	1912	仏国	ロドルフ、カストルデー
21995	28	1「縫綴機」	縫靴機	—	1912	米国	ユナイテッド、シュ、マシナリー、カムパニー

戦前期ミシンに関する産業財産権（岩本真一）

22049	28	—	三本糸飾縫機	1911	1912	日本	石脇象蔵
22259	28	1「縫綴機」	「ミシン」附属千鳥縫機	—	1912	日本	井原政重
22451	28	—	山下式裁縫「ミシン」	1911	1912	日本	山下正三郎
22635	28	1「縫綴機」	鎖縫田内縫々靴機	—	1912	米国	ユナイテッド、シュウ、マシナリー、カムパニー
22977	28	1「縫綴機」	蝸糸縫機	—	1912	米国	ユナイテッド、シュウ、マシナリー、カムパニー
22985	28	1「縫綴機」	「ハンカチーフ」縁縫附用金具	—	1912	日本	成田新次郎
23283	28	—	可搬鎖縫機	1911	1912	英国	レスリー、サルター
23934	28	—	足袋用ベタカラミ縫機	1912	1913	日本	小堤仙造
24875	28	—	石川式千鳥織機	1913	1913	日本	稲野由五郎 石川康平
25276	28	—	鈕孔縫機	1913	1914	米国	ジョージ、エス、ヒル ユナイテッド、シュウ、マシナリー、カムパニー
26912	28	—	縫機	1913	1914	米国	アルバート、ハリソン、デポー ゼ、シンガー、マニユファクチュアリング、コムパニー
26960	28	—	鈕縫着機	1914	1914	米国	ホール、エッチ、ホルダウェイ
26968	28	—	縫機ノ改良	1914	1914	米国	ジョージ、エス、ヒル ユナイテッド、シュウ、マシナリー、コムパニー
27049	28	—	コロモ「ミシン」	1913	1914	日本	甘利忠俊 甘利俊次
27312	28	—	縫機ノ改良	1913	1915	英国	フレデリック、ペーカー ペーカー、ソーイング、マシンス、ツラスト、リミテッド
29479	28	—	縁織機	1915	1916	日本	常見誠一
30091	28	—	複式縫綴部	1915	1916	米国	ランシング、オングードンク ユニオン、スベシアル、マシ、コムパニー
30956	28	—	縫機用成環機構	1916	1917	米国	マーティン、ハムレブ ゼー、シンガー、マニユファクチュアリング、コムパニー
31591	28	—	衣服ノ縫目ヲ分間シ且ツ押圧スル機械	1917	1917	英国	ウイリヤム、ウイルクキー
31680	106	—	織布片接合方法	1917	1917	米国	ジョセフ、ベルガー、ジュニオア ユニオン、スベシアル、マシ、コムパニー
31751	28	—	明嵐式和服用裁縫み志ん	1917	1917	日本	明嵐豊次
32039	28	—	コロモミシン	1917	1918	日本	甘利忠俊
32264	28	—	宮崎式縫「ミシン」	1917	1918	日本	宮崎圭四郎
32378	28	—	明嵐式和服用裁縫「み志ん」機	1917	1918	日本	明嵐豊次
32943	28	—	明嵐式和服用裁縫み志ん	1918	1918	日本	明嵐豊次
33200	106	—	防水布縫綴方法	1918	1918	日本	有任栄之助
33530	20	—	単糸係連鎖縫綴装置	1915	1918	スイス	ヨット、ディーム、ポイトラー インズストリー、アクチュエングゼルシャフト、ツワイサイチーゲル、ケッテンスタツヒ

34042	28	—	縫機ノ縫目調整及反角機構ノ改良	1918	1919	英国	チャールズ、エドワード、フランシス ヴィカース、リミテッド
34866	28	—	東洋服製造用裁縫機	1919	1919	朝鮮	李鍾勳
34919	28	—	守谷式裁縫器	1918	1919	日本	守谷石次郎
34932	28	—	ニチマセ縫	1919	1919	日本	田邊正春
35501	28	—	沖式紵「ミシン」	1919	1919	日本	沖重次郎
36301	28	—	明嵐式和服用裁縫み志ん	1919	1920	日本	明嵐豊次
37202	28	—	裁縫機械用電動機支持装置	1919	1920	米国	フレドリック、ヤコブ、オーシャス
37318	28	—	縫機	1918	1920	米国	オリヴァー、エル、ドッシ/マーティン、ハムレブ ゼー、シンガー、マニユフアアクチュアリング、コムパニー
39663	92	—	縫機二関スル改良	1920	1921	英国	フレドリック、ベーカー シリル、アーネスト、ハート/ヘンリー、ハーバート、バンヤン
40085	92	—	明嵐式和服用縫機	1920	1921	日本	明嵐豊次
40120	92	—	裁縫機械ノ送給機構二関スル改良	1921	1921	カナダ	ジェームス、アレクサンダー、フラネーガン
42286	92	—	電動機ニテ運転スル縫機	1921	1922	米国	マーチン、ハチレツプ ダイエル、マニユフアアクチュアリング、コムパニー
42757	203	—	電氣的運転ノ縫機	1921	1922	米国	マーチン、ハムレツプ ゼー、シンガー、マニユフアアクチュアリング、コムパニー
42767	203	—	電動機運転ノ縫機	1921	1922	米国	マーチン、ハムレツプ ゼー、シンガー、マニユフアアクチュアリング、コムパニー
42817	203	—	電氣的運転及照明縫機	1921	1922	米国	フレドリック、ダイエル ゼー、シンガー、マニユフアアクチュアリング、コムパニー
43549	203	—	電氣的制御ノ縫機	1921	1922	米国	マーチン、ハムレツプ ゼー、シンガー、マニユフアアクチュアリング、コムパニー
44074	92	—	裁縫機械ノ送給制御装置	1921	1922	カナダ	ジェームス、アレクサンダー、フラネーガン
44092	92	—	並刺機	1922	1922	日本	榎本光之助
50060	92	3「波状縫裁縫機」	刺縫機	1922	—	日本	山田早苗/外1名
60099	92	—	縫機機械	1922	1924	日本	伊藤庄太郎
60449	92	—	和縫機	1922	1924	日本	高田素文
60710	92	3「波状縫裁縫機」	和服縫機	1923	1924	日本	島中実衛
62413	203	2「雑」	「ミシン」ニ於ケル調整装置	1923	1925	米国	フレドリック、ヂュエール 平、シンガー、マニユフアアクチュアリング、コムパニー
66050	203	2「雑」	電氣的運転ノ縫機	1921	1925	米国	マーチン、ハムレツプ ゼー、シンガー、マニユフアアクチュアリング、コムパニー
71109	92	1「単糸裁縫機」	裁縫機	1923	1927	英国	フレドリック、ベーカー

戦前期のシンに関する産業財産権（岩本真一）

71295	92	3「波状縫裁縫機」	和服「ミシン」		1925	1927	日本	松田福太郎
76951	92	3「波状縫裁縫機」	刺子縫機械		1927	1928	日本	山本仁之助
77065	92	3「波状縫裁縫機」	日本服ニ適スル裁縫機		1927	1928	日本	母倉勝太郎
78528	92	3「波状縫裁縫機」	日本服裁縫機ニ於ケル送り機構ノ改良		1927	1928	日本	今井林蔵
79489	92	3「波状縫裁縫機」	日本服裁縫機ノ改良		1927	1928	日本	今井林蔵
79596	92	3「波状縫裁縫機」	日本服裁縫機		1927	1928	日本	今井林蔵
81106	92	7「雑種裁縫機」	縫綴機		1928	1929	日本	植村善造 福助足袋株式会社
82684	92	3「波状縫裁縫機」	日本服裁縫機ニ於ケル送布ト縫綴トヲ行フ装置		1928	1929	日本	今井林蔵
84697	92	3「波状縫裁縫機」	波状縫裁縫機		1928	1929	日本	守谷石二郎
87682	92	7「雑種裁縫機」	袋縫装置		1928	1930	米国	ジョン、エバンス、コーネル ペイツ、バルクバッグ、コーポレーション
87794	92	3「波状縫裁縫機」	和服縫「ミシン」		1929	1930	日本	宗行栄次
88394	92	3「波状縫裁縫機」	和服縫裁縫機		1927	1930	日本	増井久一
89611	92	3「波状縫裁縫機」	波状縫機		1930	1930	日本	今井政治
90996	92	7「雑種裁縫機」	縫着機「ミシン」		1930	1931	日本	小西政太郎
91421	92	7「雑種裁縫機」	裁縫「ミシン」ニ於ケル停止位置確定装置		1930	1931	日本	大坪介松
91874	92	7「雑種裁縫機」	縫着機ニ於ケル縫綴装置		1930	1931	日本	小西政太郎
92499	92	7「雑種裁縫機」	裁縫「ミシン」		1930	1931	日本	福森亀四郎 平川秀太郎
93178	92	7「雑種裁縫機」 (第65類3「包装機雑」)	縫着機ニ於ケル被縫物送進装置		1931	1931	日本	小西政太郎
93712	92	3「波状縫裁縫機」	和服縫「ミシン」		1930	1931	日本	藤波幸助
94200	92	3「波状縫裁縫機」	波状縫裁縫機ノ縫糸緊張装置		1930	1932	日本	守谷石二郎
95704	92	7「雑種裁縫機」	裁縫「ミシン」		1930	1932	日本	小西政太郎
98022	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機械用「モーター」制動機		1931	1932	米国	ダニール、ヘンリー、カーソン ザ、シンガー、マニユファクチュアリング、コムパニー
98023	92	2「複絲裁縫機」	裁縫「ミシン」用針止め装置		1931	1932	米国	アルフレッド、グリーン ザ、シンガー、マニユファクチュアリング、コムパニー
98177	92	7「雑種裁縫機」	裁縫「ミシン」ニ於ケル被縫物送進装置		1931	1932	日本	小西政太郎
98178	92	7「雑種裁縫機」	縫着機ニ於ケル被縫物送進装置		1931	1932	日本	小西政太郎
98931	92	3「波状縫裁縫機」	和服縫裁縫器		1931	1933	日本	増井久一
99053	92	9「火罌斗」	「アイロン」掛ケ圧縮機		1931	1933	米国	フランク、イー、ペーカー
99834	92	3「波状縫裁縫機」	和服用「ミシン」		1931	1933	日本	佐坂新平/小田庄左衛門
100373	92	2「複絲裁縫機」	緑騰縫機		1929	1933	米国	ノルマン、ヴァイ、クリステンセン/フレデリク、エフ、ツァイエエル ユニオン、スベシアル、マシ、コンパニー

100865	92	2「複種裁縫機」	裁縫機械ニ於ケル布送り装置	1932	1933	日本	藤伊魁 三菱電機株式会社
100872	92	2「複種裁縫機」	裁縫「ミシン」	1931	1933	日本	大谷治人
101155	92	1「単種裁縫機」	着脱自在ノ縫盤ヲ具備セル「ミシン」ノ布送装置	1932	1933	日本	中島喜三郎
101794	92	9「火駝斗」	衣服「アイロン」掛け圧縮機	1931	1933	米国	フランク、イー、バーカー
101977	92	2「複種裁縫機」	裁縫「ミシン」用ノ度盛セラレタル糸緊張装置	1931	1933	米国	ダニール、ヘンリー、カーソン ザ、シンガー、マニユファクチュアリング、コムパニー
103152	92	2「複種裁縫機」	「ミシン」用供給桿装置ノ引脱シ機構	1932	1933	米国	ハーバート、ジョン、グースマン ザ、シンガー、マニユファクチュアリング、コムパニー
103218	92	2「複種裁縫機」	手動用小型裁縫「ミシン」	1932	1933	日本	髯本光一
104650	92	3「波状縫裁縫機」	ミシン	1933	1934	日本	高倉庄太郎 米田一馬 清水利十郎
104893	92	2「複種裁縫機」	裁縫「ミシン」用糸巻ノ糸緊張装置	1931	1934	米国	ウイリアム、ルーザー、パロン ザ、シンガー、マニユファクチュアリング、コムパニー
106083	92	7「雑種裁縫機」	「オーパーロック」 「ミシン」ニ於ケル輪奈構成装置	1933	1934	日本	上里敏雄 島川永太郎
108762	92	2「複種裁縫機」	複種裁縫「ミシン」	1933	1934	日本	越田正次 瀧鼻慶吾
108998	92	7「雑種裁縫機」	ミシン	1933	1934	日本	平木貞三
109434	92	3「波状縫裁縫機」	波状縫機	1932	1935	日本	櫻並佳人
110063	92	7「雑種裁縫機」	電気駆動「ミシン」	1932	1935	填太利	イグナツツ、ゴニーク
110193	92	3「波状縫裁縫機」	和服「ミシン」	1933	1935	日本	高倉庄太郎 米田一馬
110607	92	3「波状縫裁縫機」	波状縫機	1933	1935	日本	櫻並佳人
115070	92	7「雑種裁縫機」	緑膝「ミシン」	1935	1936	日本	江本芳五郎
115187	92	3「波状縫裁縫機」	和服縫「ミシン」	1934	1936	日本	笹森勝蔵 堀川弥太郎 野田照美
116965	92	3「波状縫裁縫機」	「ミシン」糸扱装置	1934	1936	日本	笹森勝蔵 堀川弥太郎 野田照美
118119	92	7「雑種裁縫機」	作業台用動力伝送装置	1934	1936	米国	アーヴイング、フランシス、ウエツプ ザ、シンガー、マニユファクチュアリング、コムパニー
118290	92	7「雑種裁縫機」	「ミシン」用敷物製作附属装置	1935	1936	米国	ハインリッヒ、ベルコンス ザ、シンガー、マニユファクチュアリング、コムパニー
118369	92	7「雑種裁縫機」	「ボタン」孔切込縫取機械ノ改良	1935	1936	米国	ジョセフ、ハロルド、ピツカル / カール、アクセル、オスカー、グリツプ ザ、リース、バトン、ホール、マシ、コムパニー
118405	92	7「雑種裁縫機」	鈕穴縫機	1935	1936	米国	ジョセフ、エツチ、ピクル ザ、リース、バツトン、ホール、マシ、カムパニー
121643	92	2「複種裁縫機」	「ミシン」ニ於ケル上糸「ループ」構成装置	1935	1937	日本	川島梅吉
123686	92	7「雑種裁縫機」	「ボタン」穴縫取機械ノ改良	1935	1938	米国	ラルフ、アモンス、コリンズ / フランク、モンデロ ザ、リース、バトン、ホール、マシ、コムパニー
123818	92	7「雑種裁縫機」	「ボタン」捲キ機械ノ改良	1935	1938	米国	チャーレス、ジョセフ、シツボールド ザ、リース、バトン、ホール、マシ、コムパニー

戦前期のシシンに関する産業財産権（岩本真一）

124329	92	7「雑種裁縫機」	ミシン	1936	1938	日本	大谷治人
126244	92	7「雑種裁縫機」	オーバーロックミシン	1936	1938	日本	木津宏 杉山正
126557	92	7「雑種裁縫機」	裁縫「ミシン」用供給機構	1937	1938	日本	高見義夫
126679	92	1「単糸裁縫機」	単糸縫針	1936	1938	日本	伊藤利吉
128204	92	7「雑種裁縫機」	下方材料送給子並ニ上方材料送給子ヲ備フル「ミシン」	1936	1939	独国	フリードリッヒ、ルッツ ウニオン、スベチアル、マシーネンファブリック、ゲゼルシャフト、ミツト、ベシユレンクテル、ハフツング
128765	92	7「雑種裁縫機」	縫機ニ装着ス可キ緑藤装置	1936	1939	瑞典	トード、エリク、ダニエル、ビルデ
129611	92	2「複糸裁縫機」	複式小型「ミシン」	1937	1939	日本	神保新次郎 中村秀三
130153	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機	1938	1939	日本	近藤仁三郎
130203	92	2「複糸裁縫機」	「ミシン」用回転糸環捕捉器及糸巻函装置	1936	1939	米国	フランク、バーリイ ザ、シンガー、マニユファアクト
131163	92	7「雑種裁縫機」	ミシン	1936	1939	米国	ウォールター、マイアース ザ、シンガー、マニユファアクト
131164	92	7「雑種裁縫機」	ミシン	1936	1939	米国	ウォールター、マイアース ザ、シンガー、マニユファアクト
133099	92	7「雑種裁縫機」	閉鎖セル被匣ヲ有スル進進罐「ミシン」	1937	1939	独国	チャールス、エフ、リユベール ウニオン、スベチアル、マシーネンファブリック、ゲゼルシャフト、ミツト、ベシユレンクテル、ハフツング
133681	92	7「雑種裁縫機」	「ミシン」用隠シ縫取付具	1937	1939	米国	パウル、ボグーン ザ、シンガー、マニユファアクト
134821	92	7「雑種裁縫機」 (2「複糸裁縫機」)	裁縫機械ノ糸環取上器ニ対スル給油装置	1938	1940	米国	ウォールター、マイアース ザ、シンガー、マニユファアクト
135006	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機械ノ縫糸緊張装置	1938	1940	米国	シドニー、ゾーエス ザ、シンガー、マニユファアクト
135034	92	7「雑種裁縫機」	釦穴機械ノ改良	1936	1940	米国	フランクリン、オーガスタス、リース ザ、リース、パトロン、ホール、マシ、コムパニー
135548	92	7「雑種裁縫機」 (2「複糸裁縫機」)	裁縫機械ノ改良	1938	1940	米国	シドニー、ゾーエス ザ、シンガー、マニユファアクト
139570	92	7「雑種裁縫機」	縫機	1939	1940	米国	ルドルフ、ベツカー ザ、シンガー、マニユファアクト
139669	92	7「雑種裁縫機」	断糸緊張装置	1939	1940	米国	アルフレッド、テイーズラー ザ、シンガー、マニユファアクト
140168	92	7「雑種裁縫機」	膜取綴綴機械	1939	1940	米国	フレデリック、エム、カード ザ、シンガー、マニユファアクト

140171	92	7「雑種裁縫機」	縫機歯車潤滑装置	1940	1940	米国	リチャード、カイヤー／チャールズ、アルバート、ケツスラー ゼ、シンガー、マニユフアクチュアリング、カムパニー
141295	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機械ノ襲付け装置	1940	1941	米国	フレデリック、ムンロー ゼ、シンガー、マニユフアクチュアリング、コムパニー
141304	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機械ニ関スル改良	1939	1941	米国	アンドリュウ、ビー、クレントン ゼ、シンガー、マニユフアクチュアリング、コムパニー
143549	92	7「雑種裁縫機」	飾縫裁縫機械	1940	1941	米国	フレデリック、ムンロー、カード ゼ、シンガー、マニユフアクチュアリング、コムパニー
144451	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機械ノ送り装置	1940	1941	米国	フレデリック、ムンロー、カード ゼ、シンガー、マニユフアクチュアリング、コムパニー
144452	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機械ノ布帛案内装置	1940	1941	米国	ハンズ、ハツクランダー シンガー
144453	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機械用縫糸切断装置	1940	1941	米国	アーサー、エス、ヘール ゼ、シンガー、マニユフアクチュアリング、コムパニー
144454	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機械用縫糸切断装置	1940	1941	米国	トウコス、エー、アングーソン ゼ、シンガー、マニユフアクチュアリング、コムパニー
145197	92	7「雑種裁縫機」	上端緑裁縫機械	1939	1941	米国	ニコラウス、クナウス シンガー
145198	92	2「複糸裁縫機」	裁縫機械用糸環取上機構	1940	1941	米国	ウォルター、マイヤース ゼ、シンガー、マニユフアクチュアリング、コムパニー
145199	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機械	1940	1941	米国	ハンズ、ハツクランダー シンガー
145200	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機	1939	1941	米国	ニコラウス、クナウス ゼ、シンガー、マニユフアクチュアリング、カムパニー
145210	92	2「複糸裁縫機」	回転式輪絲捕捉装置ヲ備ヘタル「ミシン」	1936	1941	米国	チャールズ、アルバート、ケツスラー ゼ、シンガー、マニユフアクチュアリング、コムパニー
146640	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機用ノ縮直シ案内装置	1940	1941	米国	ハンズ、ハツクランダー シンガー
146642	92	7「雑種裁縫機」	鎖縫ヒ縫機	1940	1941	米国	フレデリック、フランシス、ザイヤー シンガー
152036	92	7「雑種裁縫機」	「ミシン」用送上前「ローラー」ノ軸装法	1942	1942	日本	小野義教
153144	92	7「雑種裁縫機」	「ミシン」取付用卸縫機	1940	1942	日本	黒住匡臣
153770	92	3「波状縫裁縫機」	和縫用「ミシン」	1941	1942	日本	増井久一
154608	92	3「波状縫裁縫機」	和縫用「ミシン」	1941	1943	日本	増井久一
155597	92	3「波状縫裁縫機」	和縫用「ミシン」	1941	1943	日本	増井久一
160346	92	7「雑種裁縫機」	自動多列縫裁縫機ニ於ケル針支持装置	1942	1943	日本	佐藤範一/鄭昌来
160371	92	7「雑種裁縫機」	「ミシン」取付用卸縫機ニ於ケル絲切断禁止装置	1941	1943	日本	黒住匡臣
160399	92	7「雑種裁縫機」	「ミシン」取付用卸縫機ニ於ケル被服体挟口自動開閉装置	1941	1943	日本	黒住匡臣

160627	92	7「雑種裁縫機」	裁縫「ミシン」釘縫装置ニ於ケル釘扶持杆ノ移動角度ノ調節装置	1942	1943	日本	前中留吉 大鶴政太郎
161657	92	3「波状裁縫機」	裁縫機	1943	1944	日本	坂田新三
161806	92	7「雑種裁縫機」	「ミシン」取付用釘縫装置ニ於ケル四ツ孔釘縫装置	1943	1944	日本	黒住匡臣
163131	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機	1943	1944	日本	坂田新三 柿沼善次郎
163132	92	7「雑種裁縫機」	裁縫機ニ於ケル縫針緊持装置	1943	1944	日本	坂田新三 柿沼善次郎
174610	92	1「単糸裁縫機」	単糸裁縫機	1946	1947	日本	生島晃輝
180017	123	G3	釘穴かざり用ミシンの改良	1947	1950	日本	埴崎輝
180223	123	E4	ミシンに於ける電導機構	1947	1949	日本	武富文作
181502	123	E62	ミシンに於ける送り金の運動方向自由変換装置	1948	1950	日本	日本ミシン製造株式会社 神田熊人
181652	123	E71	「ミシン」加工に於ける特殊縫工装置	1947	1950	日本	藤田四郎
182770	123	E82	製袋機に於ける自動給油装置	1948	1950	日本	小沢武

1-2 実用新案

番号	品目大分類	品目小分類	名称	出願年	許可年	国	出願主体
972	28	—	大和裁縫器	1905	1905	日本	上野太四郎
1009	28	—	寄七縫機杆折曲装置	1905	1906	日本	植村クニ
1409	28	—	縫機	1906	1906	日本	梅井栄太郎
1794	28	—	軽便甲馳縫着機	1906	1906	日本	川島興一郎
2147	108	—	莫大小製短縫胴衣ノ構造	1906	1906	日本	山田勇一郎
2148	28	—	千鳥掛縫機	1906	1906	日本	竹内源吉
2149	10	—	消火器	1906	1906	日本	山口清三郎
2513	28	—	足袋先縫綴機	1906	1906	日本	豊原豊治
2693	28	—	改良褶取機	1906	1906	日本	松林吉五郎
3412	28	—	改良「ミシン」	1906	1906	日本	長谷川敏吉
5352	28	—	鉤縫機	1907	1907	日本	松村芳三郎
5827	28	—	縫機送り杆	1907	1907	日本	藤原周次郎
6158	28	—	裝綴縫機	1907	1907	日本	池田芳藏
6317	112	—	「メリヤス」足袋	1907	1907	日本	三宅元吉
6318	106	—	十柄筵	1907	1907	日本	福本十松
6804	28	—	丸紐縫着兼用縫綴機	1907	1907	日本	玉井吉次郎
7136	28	—	吉川式裁縫器用縫付器	1907	1907	日本	吉川真吉
7930	28	—	手巾製造「ミシン」細縁送金	1907	1908	日本	広瀬清吉

8498	—	縫綴機導管	1908	1908	日本	大木勝太郎
9304	28	縫綴機	1908	1908	日本	山岸徳二郎
9351	28	足袋甲馳縫器機	1908	1908	日本	竹内源吉, 別役栄作
9444	28	成尾式千鳥縫「ミシン」	1908	1908	日本	成尾信次
9445	108	自由「シヤツ」	1908	1908	日本	青木周三
9561	28	裁縫用懸針	1908	1908	日本	村島フサ
10343	28	玉縁定規〔「ミシン」用〕	1908	1908	日本	山田達治
10397	20	足袋甲馳縫器機	1908	1908	日本	竹内源吉, 別役栄作
10607	28	裁縫専用笥剪刀	1908	1908	日本	毛利祥雲
11778	28	千鳥掛縫綴	1908	1909	日本	竹内源吉
11854	28	「ミシン」機械専用反射鏡	1909	1909	日本	森下幸吉
12120	28	軽便和縫「ミシン」	1909	1909	日本	田中栄吉
12918	28	筒縫「ミシン」	1909	1909	日本	堀川長兵衛
12954	28	石垣式四ッ曲機	1909	1909	日本	石垣伊三郎
12961	28	木村式軽便倍縫「ミシン」	1909	1909	日本	木村米吉
12979	28	「ミシン」機械用油受	1909	1909	日本	杉浦三郎
13473	28	甲馳縫附機械	1909	1909	日本	遠里権次郎
13645	28	「ミシン」	1909	1909	日本	橋本次郎
14249	28	田中式瓶包装蒸編綴器	1909	1909	日本	田中久吉
14884	28	甲馳縫附機械	1909	1909	日本	遠里権次郎
15388	28	千鳥掛「ミシン」	1909	1909	日本	尾島助夫, 板垣芳太郎
15505	28	裁縫用縫綴器	1909	1909	日本	松田力
17505	28	改良甲馳縫器機	1910	1910	日本	竹内源吉
17643	28	扇風器付縫綴器機	1910	1910	日本	鳥川永太郎
17906	28	布端縫綴器	1910	1910	日本	山本鳥藏
19041	28	山下式襲取機	1909	1910	日本	山下正三郎
19311	28	1「縫綴機」 コハセ縫着機	1910	1911	日本	茂田徳造
19466	28	1「縫綴機」 改良千鳥掛縫綴器機	1910	1911	日本	竹内源吉
19944	28	1「縫綴機」 玩具片桐裁縫器機	1910	1911	日本	片桐兼光/石崎銀次郎
19963	28	1「縫綴機」 萬用裁縫機	1910	1911	日本	須藤兼治郎
20814	28	1「縫綴機」 田附式折縁縫調整誘導器	1910	1910	日本	田附甚五郎
21200	28	1「縫綴機」 田附式鹿ノ子縫付「ミシン」	1910	1911	日本	田附甚五郎
21943	28	1「縫綴機」 縫綴圧定装置	1911	1911	日本	竹内源吉
22081	28	1「縫綴機」 鈕縫附装置	1911	1911	米国	ウィリアム, エス, ホルドオエー/ホル, エーチ, ホルドオエー

戦前期ミシンに関する産業財産権（岩本真一）

22555	28	1「縫綴機」	縫綴機用折返導器	1911	1911	日本	河合一／都志正平
22685	28	1「縫綴機」	鹿ノ子縁縫着「ミシン」用誘導筒	1911	1911	日本	田附甚五郎
23773	28	1「縫綴機」	柳式「ミシン」用縁折機械	1911	1912	日本	柳九三郎
23799	28	1「縫綴機」	花筵縫綴装置	1912	1912	日本	佐藤九平／秋山猪久太郎
24067	28	1「縫綴機」	ミシン	1911	1912	日本	山本米吉
24819	28	1「縫綴機」	三枝式改良縁附機	1912	1912	日本	三枝寅吉
25254	28	1「縫綴機」	石井式折縁縫調整誘導器	1912	1912	日本	石井勝次郎
25781	28	1「縫綴機」	「ハンカチーフ」縁縫附用金具	1912	1912	日本	成田新次郎
27375	28	1「縫綴機」	大村式足袋巻縫器	1911	1913	日本	大村為八
29387	28	1「縫綴機」	密針用縁取定規	1913	1913	日本	大西文次郎
30926	28	1「縫綴機」	刺繍兼用自在「ミシン」	1913	1914	日本	柄本音松
33671	28	1「縫綴機」	裁縫「ミシン」用総糸巻取器	1914	1914	日本	金子舜之助
34498	28	—	縫綴機	1914	1915	日本	並木富三郎
45588	28	—	宮崎式「ミシン」機械	1917	1918	日本	宮崎圭四郎
45666	28	—	二重環縫「ミシン」	1918	1918	日本	小林善吉／丸松合資会社
55315	28	—	ミシン	1920	1921	日本	高橋重次郎
59339	92	—	和服裁縫用「ミシン」	1919	1920	日本	大谷治人
65648	92	—	西田式「シザーミシン」	1921	1922	日本	子師栄治郎／西田才太郎
342764	92	1「単糸裁縫機」	裁縫機械	1943	1944	日本	石丸巖
359523	92	7「種裁縫機」	ミシンのクランク連結装置	1946	1947	日本	兵藤忠一
360188	92	7「種裁縫機」	裁縫機に於ける送り二又杆	1946	1948	日本	中井菊一
360469	92	2「複糸裁縫機」	裁縫機に於ける三又クランク	1947	1948	日本	清水金五郎
360731	92	7「種裁縫機」	ミシンの前後送り装置	1947	1948	日本	武富文作
360795	92	7「種裁縫機」	裁縫機に於ける前後送り限定装置	1947	1948	日本	瀬口鉄次郎／日本ミシン製造株式会社
360901	92	7「種裁縫機」	ミシンに於ける前後送り限定装置	1947	1948	日本	林好太郎
361117	123	F111	ミシン糸補導器	1946	1948	日本	高荷太一郎
361123	123	F111	ミシン糸補導器	1946	1948	日本	高荷太一郎
361234	123	E6	縫機に於ける可逆送り調節装置	1947	1948	日本	武富文作
367423	123	G3	卸穴かぎり用ミシンの卸穴切穿装置	1947	1950	日本	埴崎輝
367424	123	G3	卸穴かぎり用ミシン自動停止装置	1947	1950	日本	埴崎輝
367671	123	E690.1&123G3	卸穴際用ミシンに於けるミシンの針板	1947	1950	日本	坂上重雄
368595	123	E6	家庭用ミシンに於ける前後送り調節装置	1947	1949	日本	今井俊二
368904	123	E62	裁縫機に於ける送り作動杆	1948	1950	日本	山田正
369036	123	E4_&54B3	家庭用ミシンに於ける勢輪バンド	1948	1950	日本	小林銀一郎

369070	123	E33	電動機動力伝達装置	1948	1950	日本	榎原秀雄 日本ミシン製造株式会社
369340	123	E33 (&59D122.1&55C0)	速度加減器	1948	1950	日本	仁礼義信 / 高見滋 三菱電機株式会社
369384	123	E62	ミシンに於ける布織送装置	1948	1950	日本	中村能二
369525	123	E62	裁縫機に於ける送り加減装置	1948	1950	日本	生島見輝
369628	55	C3	速度制御器	1947	1950	日本	滝沢源治 中央工業株式会社
369642	76	D3	飛出ナイフ	1948	1950	日本	山田吉太郎
370254	123	E62	裁縫機の布送り調節用操作片	1948	1950	日本	端博
370373	123	E33	電動ミシン	1948	1950	日本	亀山弘澄 / 岡本英彦 三菱電機株式会社
371864	55	C3	足摺式速度制御器	1948	1950	日本	安川昌平 株式会社日立製作所
371865	55	C3	足摺式速度制御器用足踏杆	1948	1950	日本	安川昌平 株式会社日立製作所
372406	59	D122_&13E33	摺動抵抗器	1948	1950	日本	高見滋 三菱電機株式会社

1-3 商標登録

番号	品目大分類	名称	出願年	登録年	国
10004	16	裁縫機	1897	1897	米国
127350	17	シンガー	1920	1920	米国
127351	09A13	SINGER	1920	1921	米国
312484	69	SINGER\シンガー	1937	—	米国

出典：国立国会図書館ウェブページ「戦前の日本特許の調べ方」, 独立行政法人工業所有権情報・研修館ウェブページ「特許情報プラットフォーム」, 特許庁ウェブページ「Fタームデータベース」, マコード一覧情報（データベース）, 特許庁「実用新案分類総目録」(上巻, 帝国発明協会, 1912年), 特許局編「統特許発明分類総目録」(帝国発明協会, 1914年), 特許局編「実用新案分類総目録」(上巻, 特許局, 1917年), 「米英其他敵国所有ノ特許権集録」(発明公報協会, 1942年)。

注1：公日とはミシンの場合に1922年から記される場合もあるが省略。

注2：商標登録の更新出願・更新登録は無視。

注3：「—」は不詳。

注4：出願主体は、氏名のみ、発明者・考案者、特許権者（発明者）・実用新案権者（考案者）、特許権者・実用新案権者を合わせた。ただし、発明者・考案者等が各複数人存在する場合には「/」で区切り、発明者・考案者と特許権者・実用新案権者が併載されている場合は間に「|」を挿入して区別した。